

## 【学生向け】

### 新型コロナウイルス感染拡大防止と対面授業の受講に係るガイドライン

制定：令和2年6月2日

改訂：令和2年12月18日

改訂：令和3年9月24日

危機対策本部

本ガイドラインは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と学生の学修機会の両立を図るため、対面授業を受講するに当たって、学生の皆様が遵守すべき事項をまとめたものです。

令和3年9月24日の改訂にあたっては、感染力が非常に高いとされる変異株へ対応するための感染対策を加えておりますので、再度、ご一読ください。

#### 1. 健康管理

- (1) 毎朝、確実に検温を行い、その結果を記録してください。
- (2) 通学の経路や大学内での行動（使用教室・座席等）の記録も確実にお願いします。
- (3) 発熱や咳など風邪の症状や息苦しさ、強いだるさなどがある場合は、授業への出席を見合わせ、「体調不良に伴う欠席等における 大学への連絡・届け出について」に基づいた行動をお願いします。

#### 2. 通学

- (1) 通学前には各自で検温を行い記録してください。体温計がない場合は、健康科学センター窓口までお越し下さい。
- (2) マスクは各自で準備し、必ず着用してください。布やウレタンよりも不織布の方が効果が高いことが示されていることにご留意ください。また、すき間のないよう顔にフィットさせてください。
- (3) 公共交通機関を利用する場合、混雑している車両を避け、できるだけ他者との距離をとるなど、身体的距離の確保を心がけてください。

#### 3. 大学到着時や学内施設利用に関する事項

- (1) 建物に入ったら、石けんによる手洗いや消毒液で手指の消毒を行ってください。また、それ以外の時でも、こまめに手洗いや消毒を行ってください。

- (2) 手指の消毒液は各建物の入口付近に配備しています。
- (3) マスクが汚損した場合や手持ちがない場合は、健康科学センターまでご相談ください。
- (4) 大学でも消毒液は準備しておりますが、在庫に限りがあるため、万が一に備え、ご自身でも持ち運び可能な消毒液を持参してください。

#### 4. 共通講義棟の教室での授業受講に関する事項

- (1) 授業受講の際はマスクを必ず着用してください。
- (2) 共通講義棟の各教室は、身体的距離を確保するため、席数を制限しています。使用できない席には「使用不可」の掲示を行っておりますので、着席しないでください。
- (3) 授業開始時に授業担当教員から、行動記録、検温の記録を行っているかの確認が行われます。その両方がない場合は退室となりますので、記録を忘れないようにしてください。
- (4) 共通講義棟の教室の使用可能な座席には番号を付しています。毎時限の授業でご自身が座った座席番号を必ず記録してください。
- (5) 教室出入口のドアは常時開放していますので、ドアノブに触れないでください。
- (6) 基本的に窓も2方向開けた状態になっています。閉めている場合でも、最低30分に1度、可能であればさらに短い時間間隔で10分ほど窓を開けて換気が行われます。
- (7) エアコン・照明のスイッチ類には触らないようにしてください。 共通講義棟の教室は教育支援課で管理をしますので、授業終了後もつけたままで構いません。
- (8) 着席時には私語は自粛してください。 会話が必要な場合でも、その時間はできる限り短くし、大声は避けてください。また、後ろを振り返って対面で会話することは避けてください。
- (9) 共通講義棟の各教室の机・椅子は、毎朝、清掃業者が消毒作業を行います。
- (10) 授業担当教員の指示に従い、授業中は以下のことを心掛けてください。
  - ・学生同士の接触、密接、密集、密閉、近距離での活動、向かい合っでの発声は避け、一定の距離を保ち、同じ方向を向いてください。

- ・文房具等の貸し借りは行わないでください。
- ・器具や用具を共用で使用する場合は、使用前後の適切な消毒や手洗いを行ってください。

(1 1) 授業終了後は速やかに帰宅してください。

#### 5. 共通講義棟以外の教棟の教室での授業受講に関する事項

上記4で示した共通講義棟での教室での事項に準じてください。

#### 6. 屋外での授業や実技を伴う授業に関する事項

(1) 屋外での授業ではあっても、3密（密接・密集・密閉）のうちの1つの密も避けて、「ゼロ密」となるようにしてください。

(2) 屋外の授業ではあっても、他の学生と十分な身体的距離（少なくとも2メートル以上）をとることができない場合には、マスクを着用してください。十分な身体的距離をとることができる場合には、熱中症予防等の観点からマスクをはずしてください。

(3) 実技を伴う授業科目（体育、音楽等）については、政府、関連学会等によるガイドライン等にしがった感染防止対策を遵守して実施しますので、授業担当教員の指示に従ってください。

#### 7. 授業の空き時間やキャンパス内での遠隔授業の受講に関する事項

(1) 対面の授業が開始されても、感染拡大防止の観点から引き続き遠隔授業の形態で行う授業もあり、対面の授業と遠隔授業が混在する場合があります。遠隔授業を時間割や帰宅時間の都合上、自宅で受講できない場合は、共通講義棟での受講を可とします。

(2) また、ご自宅にインターネット環境が整備されていない場合等も共通講義棟での遠隔授業の受講を可とします。

(3) 上記(1)(2)により**共通講義棟を利用する際は**、感染防止対策を徹底し利用状況を管理するため、**教育支援課への申請を必須**とします。申請方法等は別途お知らせします。

(4) 4年生の教員採用試験対策のための自習に限り、共通講義棟での自習を可とします。その際も**教育支援課への申請は必須**です。

(5) 空き時間の教室の利用状況は巡視します。無断の利用を発見した場合は、全ての学生の利用を禁止とします。利用する際は必ず教育支援課で所定の手続きを行ってください。

#### 8. 授業の欠席に関する取扱い

(1) 授業の欠席については、従来の「学生の授業欠席の取扱いについて(重要通知)」とともに、今般の新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて作成した「新型コロナウイルス感染症に係る授業欠席の取扱について」を確認してください。①新型コロナウイルス感染症に感染した場合、②「濃厚接触者」または「濃厚接触の疑いがある者」に特定された場合、③大学から自宅待機を要請された場合、④風邪の症状や強いだるさ、息苦しさがある場合は症状が緩和するまで自宅療養となり、①～④は所定の手続きにより公欠の扱いとなります。

(2) 自らの意思で、新型コロナウイルス感染症の感染リスクを避けるため、授業を欠席したい場合、本学は、本ガイドラインに沿った感染症対策を踏まえて面接授業を実施しており、他の受講生との平等性を確保するため、公欠の扱いとはしません。但し、授業担当教員の判断で面接授業の出席によらない課題の提出や同時に遠隔授業を行う等の代替の方法をもって出席と取り扱う場合もあるので、授業担当教員に相談してください。

(3) 基礎疾患により、新型コロナウイルス感染症の感染に不安がある場合は、健康科学センターまでご相談ください。